

一般社団法人日本カバディ協会 特定費用準備資金等取扱規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本カバディ協会（以下「本協会」という。）の特定費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資金の取扱いに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、その各号に定めるところによる。

- (1) 特定費用準備資金 将来の特定の活動の実施のために特別に支出する費用（事業費又は管理費として計上されることとなるものに限る。）に係る支出に充てるための資金をいう。
- (2) 特定資産取得・改良資金 特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金をいう。
- (3) 特定費用準備資金等 上記（1）及び（2）を総称する。

第2章 特定費用準備資金

(特定費用準備資金の保有)

第3条 本協会は、特定費用準備資金を保有することができる。

(保有に係る承認手続き)

第4条 本協会が、前条の特定費用準備資金を保有しようとするときは、代表理事は、事業ごとに、その資金の名称、将来の特定の活動の名称、内容、計画期間、活動の実施予定時期、積立額、その算定根拠を理事会に提示し、理事会は、次の要件を充たす場合において、事業ごとに、承認するものとする。

- (1) その資金の目的である活動を行うことが見込まれること。
- (2) 積立限度額が合理的に算定されていること。

(特定費用準備資金の管理・取り崩し等)

第5条 前条の特定費用準備資金には、貸借対照表及び財産目録上名称を付した特定資産として、他の資金（他の特定費用準備資金を含む）と明確に区分して管理する。

- 2 前項の資金は、その資金の目的である支出に充てる場合を除くほか、取り崩すことができない。

- 3 前項にかかわらず、目的外の取り崩しを行う場合には、代表理事は、取り崩しが必要な理由を付して理事会に付議し、その決議を得なければならない。積立計画の中止、積立限度額及び積立期間の変更についても同様とする。

第3章 特定資産取得・改良資金

(特定資産取得・改良資金の保有)

第6条 本協会は、特定資産取得・改良資金を保有することができる。

(保有に係る承認手続き)

第7条 本協会が、前条の特定資産取得・改良資金を保有しようとするときは、代表理事は、資産ごとに、その資金の名称、対象となる資産の名称、目的、計画期間、資産の取得又は改良等（以下「資産取得等」という。）の予定時期、資産取得等に必要な最低額、その算定根拠を理事会に提示し、理事会は、次の要件を充たす場合において、資産ごとに、承認するものとする。

- (1) その資金の目的である資産を取得し、又は改良することが見込まれること。
- (2) その資金の目的である資産取得等に必要な最低額が合理的に算定されていること。

(特定資産取得・改良資金の管理・取り崩し等)

第8条 前条の特定資産取得・改良資金については、貸借対照表及び財産目録上名称を付した特定資産として、他の資金（他の特定資産取得・改良資金を含む）と明確に区分して管理する。

- 2 前項の資金については、その資金の目的である支出に充てる場合を除くほか、取り崩すことができない。
- 3 前項にかかわらず、目的外の取り崩しを行う場合には、代表理事は、取り崩しが必要な理由を付して理事会に付議し、その決議を得なければならない。積立計画の中止、資産取得等に必要な最低額及び積立期間の変更についても同様とする。

第4章 公表

(特定費用準備資金等の公表)

第9条 特定費用準備資金等の公表について、資金の取り崩しに係る手続き並びに特定費用準備資金については積立限度額及びその算定根拠を、特定資産取得・改良資金については資産取得等に必要な最低額及びその算定根拠を、事務所における書類の備置き及び閲覧を行う。

第5章 雑則

(細則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、代表理事が別に定める。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。